

キクのエコ生産を実現する LEDを用いた防蛾照明栽培技術の開発

農林水産省 平成20年度 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業採択課題 (課題番号: 2017)

背景

- **キクは国内で最大の切り花**
作付面積 生産量 生産額
5532ha ・ 18億本 ・ 900億円

- **農薬が効かない夜蛾類の激発**

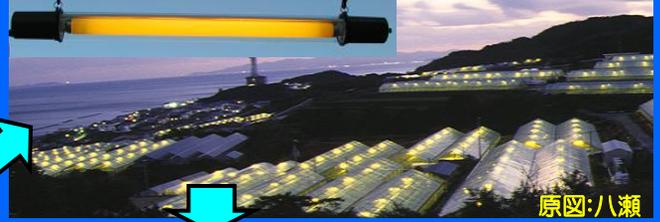


成虫



幼虫

■ 防蛾用黄色蛍光灯の利用 (カーネーション)



原図: 八瀬

× **キクでは使用できない**
著しい開花遅延が発生

開花遅延させることなく防蛾効果を発揮する
照明栽培技術の開発が喫緊の課題

研究内容



① 夜蛾類の行動抑制技術の開発

- 照明に対する視覚特性の解明 (金沢工業大学工学部)
- 照明に対する行動特性の解明 (千葉大学大学院園芸学研究科)

② キクに開花遅延させない 照明栽培技術の開発

- 開花遅延させない照明技術の開発
- 照明下での切り花品質の検証

〔 広島県立総合技術研究所農業技術センター
兵庫県立農林水産技術総合センター 〕

③ 実用ランプの開発

- 設計と製作
- 実用性向上と商品化 (民間企業)

LEDの
点灯制御
進入禁止!

LEDランプ

太陽電池

④ 現地実証

- 開発技術の実証展示
- 設置基準の策定

〔 広島県立総合技術研究所農業技術センター
兵庫県立農林水産技術総合センター 〕

達成目標: 夜蛾類による被害防止, 開花遅延・防蛾用農薬使用量ゼロ